

会議録

会議の名称	平成23年度第1回行財政改革推進委員会
開催日時	平成23年5月18日（水曜日） 10時から12時まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：横道委員長、岡田委員、鈴木委員、中村委員、山田委員、米森委員 事務局：池田企画部長、森本参与兼企画政策課長、柴原財政課長、横田企画部主幹、掛谷企画政策課主査、佐野企画政策課主任、山田企画政策課主任
議題	1 平成23年度予算の概要について 2 「地域経営戦略プラン2010」平成23年度の取組みについて (1) 公共施設の有効活用・適正配置について (2) 事務事業評価について (3) その他の取組みについて 3 その他
会議資料の名称	1 平成23年度西東京市予算の概要 2 西東京市公共施設の適正配置に関する基本方針 3 平成23年度事務事業評価について 3-別紙1 平成23年度事務事業評価実施スケジュール 3-別紙2 平成23年度事務事業評価事業一覧 4 地域経営戦略プラン2010平成22年度の取組状況一覧表（暫定版）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(開会)</p> <p>議題1 平成23年度予算の概要について</p> <p>○横道委員長： 議題1について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>○事務局： (資料1に沿って説明)</p> <p>○横道委員長： 合併特例債の措置が終了したことに伴い公共施設整備は減っていますが、平成23年度は過去最大の予算規模となっています。抑制の難しい生活保護などの民生部門が伸びているとのことですが、どの程度の影響があるのでしょうか。</p>	

○事務局：

平成22年度予算と比較すると、生活保護費は約9.8億円の増加であり、子ども手当が約8.2億円の増加となっています。

また、生活保護に関しては、担当するケースワーカーの人員を増やしており、職員定数にも影響しています。

○横道委員長：

基金の現在高について、平成22年度末見込が21年度末よりも減少していますが、これは平成22年度の決算が確定した段階で21年度末並みに戻ると考えてよいのでしょうか。

○事務局：

そのように見込んでいます。

議題2 「地域経営戦略プラン2010」平成23年度の取組みについて

○横道委員長：

次に、議題2について、内容が3点に分かれておりますので、それぞれ事務局から説明をお願いします。

○事務局：

(1) 公共施設の有効活用・適正配置について、資料2に沿って説明)

○横道委員長：

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

○岡田委員：

資料中に建物の総面積の推移がありますが、総面積とは延床面積のことでしょうか。

また、人口については、一般的には総務省の推計値や実績値などの種類がありますが、資料中ではどのような数値を使用しているのでしょうか。

○事務局：

面積については、建物の延床面積の合計です。

人口については、住民基本台帳と外国人登録人口を合せた数値について、これまで市で実施した人口推計値と実績値とを掲載しています。

○中村委員：

合併時の想定とは異なる点があったとのことですが、公共施設の配置に関連するものでは、主にどのようなことがあるのでしょうか。

○事務局：

主な点としては、人口の増加が挙げられます。その中でも学校については影響が大

きく、児童数の減少によって空き教室が相当数だと予測しておりましたが、現状では部分的ではありますが、増築により対応している学校もあります。

○横道委員長：

これまでの10年間は、合併特例債を活用しながら新たな施設の整備などに注力してきた結果、施設の増加につながっています。合併特例債を活用できる期間が終了しましたが、今後も施設整備の予定はあるのでしょうか。

○事務局：

新規施設の建設予定はありませんが、既存施設の老朽化や耐震化への対応が必要なものがあり、小中学校や福祉会館、市民会館などについては課題として残っています。

ただし、建替えをするとなった場合でも、単純に当該施設の建替えを行うのではなく、近隣施設の統廃合による効率化という点にも留意し、検討を進めていくこととなります。

○横道委員長：

今後は、新たな施設を建設するのではなく、既存の施設の老朽化などへの対応が必要とのことですが、保育園や幼稚園についてはどうなのでしょうか。

○事務局：

保育園については、民間事業者により今年度に3園、来年度に1園が開設予定であり、現時点で公設の保育園を新設する予定はありません。

また、幼稚園については、現在も公設のものではなく、事業者に運営費の補助金を交付する形となっており、今後も市で建設する予定はありません。

一方で、学童クラブについては、これまでの保育園の利用状況を勘案すると、対象児童数に増減がなくても需要が増加することが想定されますので、対応が必要となる場合があると考えています。

○横道委員長：

庁舎についても大きな課題となっていますが、建設費はどのくらいの額になると試算しているのでしょうか。

○事務局：

平成19年度末の報告書では、約70億円と試算しています。

ただし、地方分権の流れの中で東京都からの事務移管があることを考えると、必要な面積も変わってきますので、今後の動向を注視する必要があります。

○米森委員：

人口構成が変化することによって、必要となる施設も変わってきます。現在は、子育て関係の施設の需要が増えているようですが、これから高齢化社会を迎えるに当たって、医療や福祉施設の必要性については、どのように考えているのでしょうか。

○事務局：

既に建替えを行った福社会館については、その際に規模を拡大する形となっており、今後も建て替えを行う場合には、同じような対応が考えられます。

平成19年度に実施した人口推計では、平成27年までは65歳以上の人口増加の幅が大きいのですが、平成30年以降については増加の幅も小さくなっています。

今年度にも人口推計を実施する予定ですので、人口推計の結果を見ながら、これからの対応について検討を進めることとなります。

○岡田委員：

基本方針において市民ニーズを把握するとありますが、単に要望のみを聞くのではなく、コスト面の情報も開示しながら、丁寧に行っていただきたいと思います。

○横道委員長：

市民にとっては、建設費については判りやすいのですが、実際にはランニングコストも重要な要素となります。公共施設の適正配置を進める際には、取組みの必要性について丁寧な説明をお願いします。

次に、議題2(2)について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

(2) 事務事業評価について、資料3に沿って説明)

○横道委員長：

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

○鈴木委員：

二次評価を実施する事務事業適正化委員会というのは、どのようなものでしょうか。

○事務局：

企画部長と総務部長、また各部の庶務担当課長等で構成する庁内の委員会です。二次評価に当たっては、5つにグループ分けを行い、対象事業に直接関連のない課長職が、庁内における第三者的な立場から評価を行うこととしています。

○横道委員長：

外部評価について、8月から10月にかけて5事業程度の評価を行うとのことであり、スケジュールや事業数についてはよいと思います。ただし、84事業のうちの5事業ですので、どの事業に対して評価を行うかについては、重要な問題となります。本委員会としても、評価対象事業の選定に関与する必要があると考えていますので、対象候補としては10事業程度の提示をお願いします。

○事務局：

今後、二次評価結果を見ながら外部評価の対象となる事業の抽出作業を行ないます。事務局として、外部評価の有効性や事業の性質などから一定の整理をしたうえ

で、10事業程度の候補を提示します。

○横道委員長：

次に、議題2 (3) について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

((3) その他の取組みについて、資料4に沿って説明)

○横道委員長：

省エネルギー対策としては、行革プランのレベルを超える対応が求められています
が、現時点ではどのような対応をされているのでしょうか。

○事務局：

これまで、施設の休館なども行っていましたが、現在では間引き照明やエレベーターの部分停止、夜間照明の停止などが主なものとなっています。

今後の夏季のピーク時への対応については、現在、総務部門を中心に検討している
ところです。

○横道委員長：

菅平少年自然の家について、教育委員会において転用も選択肢の一つとして検討を
行った結果、廃止という結論になったとのことですが、今後はどのような検討を行う
のでしょうか。売却はできるのでしょうか。

○事務局：

市長部局としても、教育委員会の検討結果の検証を行うとともに、現地の上田市の
意向も伺いながら、今後の対応を検討します。

売却については、土地の取得に際して国庫補助を活用しており、補助金の返還など
の制約が考えられます。また、隣接して国立市所有の土地がありますが、そちらも更
地のまま売却できない状態が数十年続いておりますので、すぐに売却ということは難
しいのではないかと考えています。

議題3 その他

○横道委員長：

その他として、事務局から何かありましたらお願いします。

○事務局：

次回以降の会議開催予定について、ご説明します。次回からは、事務事業評価の外部
評価の関連での作業が始まります。7月中に庁内における二次評価がまとまります
ので、8月中に評価手法の説明や対象事業の選定で1回、評価対象事業の事業説明で1
回の計2回の開催をしたいと考えております。

早めに日程調整をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

○横道委員長：

それでは、本日の会議は終了します。

(閉会)